

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民憲章普及啓発事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1971(S46)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	全市民
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	市民憲章のさらなる普及啓発を行う必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民憲章が広く市民に普及し、市民憲章に掲げる市民道徳、生活規範が確立されている状態。
---------------------------	--

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市市民憲章の普及啓発のための各種啓発活動 市内25か所に設置されている憲章板・碑の管理 枚方市民憲章を推進する会の運営委員会の開催への協力。 <p>※枚方市民憲章を推進する会は、市民団体をはじめとする各種団体から選出されたメンバーからなる団体で、市の実施する市民憲章の普及啓発に対し、市民の立場から提言し、協力、連携を図っている。 本事業は市民自身の手によって策定された枚方市民憲章を啓発するため、ティッシュ等の啓発グッズの配布・設置による啓発活動が中心であったが、今後は市ホームページをはじめ、関係部署が発行する冊子への掲載やSNS等、様々な媒体を活用し、効果的に実施する。</p>
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	市民憲章が広く市民に普及し、市民憲章に掲げる市民道徳、生活規範が確立されている。	市民憲章を知っている市民が増える。	市民憲章の啓発事業を検討する。	
指標設定	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	指標説明	市民憲章の認知度 【算出式:スマホアンケートにおいて「市民憲章を知っている」と回答した者の数/スマホアンケートの有効回答者数×100】	啓発ティッシュの配布数	イベント等による啓発回数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 個	単位 回
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	50 60 70 80	7,000 7,000 7,000 7,000	4 4 4 4
達成度	33.85 31.90	1,500 1,000	0 1	
分析	53%	14%	25%	
分析	スマホアンケートの回答者数が、65人(R02)から605人(R03)と増加したため、認知度が微減した。	新型コロナの影響により、来庁者やイベントが減少したことに伴い、啓発ティッシュの配布数が減少した。	市民憲章制定50周年記念植樹式を開催し、啓発を行った。新型コロナの影響により、啓発を予定していた他のイベントが中止となった。	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	1,571		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,603	1,595	1,571		
	物件費計	51	4	50	83	60%
	歳出計	1,654	1,599	1,621		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	1,654	4	50	83	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市民憲章を推進する会と制定50周年植樹式を共催し、その様子を広報ひらかたへ掲載するとともに、市ホームページや関係部署が発行する冊子への市民憲章の掲載等により啓発活動を実施した。市内25か所に設置されている憲章板・碑は、当該年度において破損が見られなかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	啓発ティッシュの配布を行うとともに、市ホームページをはじめ、関係部署が発行する冊子への掲載やSNS等、様々な媒体を活用し、効果的に啓発活動を実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													NPO活動支援事業						
測定年度		2021(R3)年度				部		市長公室			課		市民活動課						
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり															
		施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します															
		実行計画名		計画推進2-1.市民活動の支援															
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス				特性			選択的事业			区分		一般事務事業					
事業期間		2007(H19)年度				年度		~				年度まで							
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称		NPO活動応援基金補助事業補助金、NPO情報発信イベント事業補助金						サンセット		2020(R2)年度		2022(R4)年度							
関係附属機関名称		枚方市NPO活動応援基金支援審査会																	
事業対象		メインターゲット		市内で活動する市民やNPOの市民活動団体															
		サブターゲット		市内で活動する市民やNPOの市民活動団体の活動を受けて、生活の利便性などが向上する市民															
		ターゲットが抱える課題		市民やNPO・市民団体等の連携、市民活動の情報収集・発信、市民活動の担い手及び市民活動の資金が不足している。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。																	
事業概要		<p>1. NPOサポート事業 市民やNPO、市民団体等の市民活動の活性化を促進するため、サブリー村野を拠点に市民活動の情報収集・発信し、相互の情報交換や人材育成を図る。</p> <p>2. NPO活動応援基金補助事業 市民・法人等からの寄付金の受け皿となる枚方市NPO活動応援基金を原資として、市内のNPO法人へ補助金を交付することにより自主的な市民活動の推進を図る。</p> <p>3. NPO情報発信イベント事業 特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターが行う、市内のNPO団体等が日頃の活動を広く市民にPRするためのイベント「NPOフェスタ」に対して補助金を交付し、市民活動の活性化を図る。</p>																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。				市民やNPO、市民団体相互の情報交換や人材育成が図られる。				サブリー村野を拠点に、市民活動の情報収集・発信する。									
指標設定		指標説明		市民やNPO、市民団体等の市民活動の拠点であるサブリー村野の利用率 【算出率:利用時間枠数/利用可能時間枠数×100】				サブリー村野学校の開催団体数				ひらかた市民活動支援センター及びサブリーNPOセンター登録団体数							
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		達成度		78%				40%				57%							
分析		利用団体の多くが高齢者を含むため、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛している利用団体が多く、利用率が伸び悩んだ。				新型コロナウイルス感染症の影響で、講座が中止となる等の影響により、目標は達成できていないが、子育てや健康増進等の各種講座が行われ、団体のメンバー拡大の機会が提供されている。				新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、登録を行う団体は増加している。									
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。				市内のNPO法人に対して補助金を交付する。				市内のNPO法人に対し、NPO活動応援基金への登録を促す。									
指標設定②		指標説明		市民やNPO、市民団体等の市民活動の拠点であるサブリー村野の利用率 【算出率:利用時間枠数/利用可能時間枠数×100】				NPO活動応援基金への申請団体数				NPO活動応援基金の登録団体数							
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		達成度		78%				38%				60%							
分析		利用団体の多くが高齢者を含むため、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛している利用団体が多く、利用率が伸び悩んだ。				新型コロナウイルス感染症の影響により、NPO法人の活動が制限されたため、申請数が減少した。				新型コロナウイルス感染症の影響により、NPO法人の活動が制限されたため、登録数が減少した。									

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。				「NPOフェスタ」の開催により、市民へのNPO団体の活動のPRにつながる。				NPO団体が「NPOフェスタ」へ参加し、市民へ活動をPRする。			
指標設定③	指標説明	市民やNPO、市民団体等の市民活動の拠点であるサプリ村野の利用率 【算出率:利用時間枠数/利用可能時間枠数×100】				NPOフェスタの来場者数				NPOフェスタの参加団体数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込)	45	50	55	60	4,000	4,250	4,500	4,750	48	50	52	54
	実績	37	39.10			3,068	-			35	-		
	達成度	78%											
	分析	利用団体の多くが高齢者を含むため、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛している利用団体が多く、利用率が伸び悩んだ。				開催の直前まで準備をすすめていたが緊急事態宣言の発令により中止となったため、実績が計測できていない。				開催の直前まで準備をすすめていたが緊急事態宣言の発令により中止となったため、実績が計測できていない。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	6.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	5,583	5,500		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	200	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	200	162	171		
	人件費計	6,614	5,745	5,671		
	物件費計	20,676	18,995	17,719	20,556	86%
	歳出計	27,290	24,740	23,390		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,912	3,046	1,768	4,607	
	歳入計	2,912	3,046	1,768	4,607	
	一般財源	24,378	15,949	15,951	15,949	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、「サブリ村野の利用率」や「サブリ村野学校の開催団体数」、「ひらかた市民活動支援センター及びサブリ村野NPOセンター登録団体数」、「NPO活動応援基金への申請団体数」「NPO活動応援基金の登録団体数」については、目標を達成できていない。また、「NPOフェスタの来場者数」「NPOフェスタの参加団体数」については開催が中止となったため、指標測定が出来ていない。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	NPOの活動支援に継続して取り組み、市民活動の活性化を推進する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	コミュニティ活動事業(補)														
測定年度	2021(R3)年度				部	市長公室				課	市民活動課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり												
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します												
	実行計画名														
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス			特性			選択的事业			区分			一般事務事業		
事業期間	①H2年度(1990年度) ②H19年度(2007年度)			年度			~			年度まで					
根拠法令等	①枚方市校区コミュニティ活動補助金交付要綱 ②枚方市地域づくりデザイン事業補助金交付要綱														
関係補助金名称	①枚方市校区コミュニティ活動補助金			②枚方市地域づくりデザイン事業補助金			サンセット			2021(R3)年度			2023(R5)年度		
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		各校区コミュニティ協議会												
	サブターゲット		各校区の住民												
	ターゲットが抱える課題		各校区コミュニティ協議会における主体的な活動の活性化を図るため、取り組みを支援する。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	校区コミュニティ協議会の主体的な活動により、安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られている状態。														
事業概要	<p>①校区コミュニティ活動補助金:地域の特色を生かした弾力的な運用が可能な基礎額(均等割額及び人口割額)と使途を限定した特別事業(青色防犯パトロール活動補助金)の二段構成となっている補助金。基礎額については均等割9割、人口割1割の割合だったものを、対象住民数を踏まえた公平性の観点から予算の範囲内で令和3年度から令和5年度まで3年間に渡り段階的に均等割8割、人口割2割に移行していく。</p> <p>②地域づくりデザイン事業補助金:地域住民が様々な地域づくりのアイデアを出し合い、校区コミュニティ協議会がその実現に向けて主体的かつ持続的に行う活動に対して支援を行う補助制度。</p> <p>令和3年度から、審査会の廃止や申請書類の簡素化など、申請手続きの負担軽減を図るとともに、補助金額の上限についても1校区あたり最大2年で120万円(複数校区で実施する場合も同額)の交付に変更した。</p>														

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	校区コミュニティ協議会の安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られる。				校区コミュニティ協議会の主体的な活動が実施される。				校区コミュニティ協議会の運営に対し、校区コミュニティ活動補助金を交付する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明		さらなる地域活動の活性化が図られた校区数		校区コミュニティ協議会による活動件数		校区コミュニティ活動補助金交付により、コミュニティ活動の支援を行った校区数							
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		45	45	45	45	10,000	15,000	20,000	22,000	45	45	45	45
	実績		45	45			16,397	11,890			45	45		
	達成度		100%				79%				100%			
分析		想定通りであった。				コロナによる活動自粛が続いたことから、想定を下回る活動数であった。				想定通りであった。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	校区コミュニティ協議会の安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られる。				地域づくりデザイン事業を実施する。				校区コミュニティ協議会に地域づくりデザイン事業補助金を交付する。					
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明		さらなる地域活動の活性化が図られた校区数		地域づくりデザイン事業を実施した校区数		地域づくりデザイン事業補助金交付によりコミュニティ活動の支援を行った校区数							
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		45	45	45	45	0	3	2	4	0	3	2	4
	実績		45	45			0	3			0	3		
	達成度		100%				100%				100%			
分析		想定通りであった。				想定通りであった。				想定通りであった。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																																															
ロジックモデル③		校区コミュニティ協議会の安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られる。				青色防犯パトロール活動の実施				青色パトロール防犯活動の申請																																															
指標設定③	指標説明	さらなる地域活動の活性化が図られた校区数				青色防犯パトロール活動を実施した校区数				補助金交付により青色防犯パトロール活動の支援を行った校区数																																															
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標																																															
	指標数値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>校区</th> <th>単位</th> <th>校区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>45</td> <td>45</td> <td></td> <td></td> <td>13</td> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				単位	校区	単位	校区	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	45	45	45	45	13	13	13	13	13	13	13	13	45	45			13	13			12	12			100%				100%				92%			
	単位	校区	単位	校区																																																					
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5																																													
	45	45	45	45	13	13	13	13	13	13	13	13																																													
	45	45			13	13			12	12																																															
達成度	100%				100%				92%																																																
分析	想定通りであった。				想定通りであった。				校区の判断により補助金の交付を受けずに青色防犯パトロール活動を実施している校区が1校区あった。																																																

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,418	9,570	11,786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	37	0	31		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,455	9,570	11,817		
	物件費計	54,159	51,761	55,664	58,917	94%
	歳出計	62,614	61,331	67,481		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	62,614	51,761	55,664	58,917	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍により、地域活動の自粛等が相次いだため、想定を下回る活動数となった。校区コミュニティ活動補助金および地域づくりデザイン事業補助金については、活用により各校区のコミュニティ活動がより一層活発に展開される制度となるように令和3年度から見直しを行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<p><校区コミュニティ活動補助金> 校区コミュニティ活動補助金の均等割9割、人口割1割の割合部分を、令和3年度から3年間に渡り段階的に均等割を8割、人口割を2割に移行するよう進めていく。</p> <p><地域づくりデザイン事業補助金> 令和3年度から、制度の利用促進かつ地域の課題解決につながるよう、申請手続きの負担軽減(事業計画等の申請書類の簡素化や各校区コミュニティ協議会が行うプレゼンテーションを廃止)や、補助金上限額の変更(1校区あたり最大5年で300万円を交付していたものを、1校区あたり最大2年で120万円の交付)等を行った。各校区コミュニティ協議会の活動の更なる活性化に向け、本制度の利用促進を図る。</p>

事務事業実績測定調査

事務事業名称																			
コミュニティ連絡協議会運営事務																			
測定年度		2021(R3)年度				部		市長公室			課		市民活動課						
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり															
		施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します															
		実行計画名																	
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス				特性		選択的事业			区分		一般事務事業						
事業期間		1997(H9)年度				年度		~				年度まで							
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称												サンセット							
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		枚方市コミュニティ連絡協議会															
		サブターゲット		枚方市コミュニティ連絡協議会に参画する各校区コミュニティ協議会															
		ターゲットが抱える課題		枚方市コミュニティ連絡協議会の運営をより円滑に行うため、その運営を支援する。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		枚方市コミュニティ連絡協議会の運営をより円滑に行うことで、市内における共通の地域課題の共有化を図るとともに、地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりが推進されている状態。																	
事業概要		校区コミュニティ協議会の自主的な活動を支援し、地域の活性化に資する活動を行うことにより、地域住民の連携を促進し、安全・安心で魅力ある地域づくりを推進することを目的として組織された枚方市コミュニティ連絡協議会の事務を市民活動課で行い、その運営に対し支援を行っている。 また、行政からの情報提供について、取りまとめのうえ、枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて校区コミュニティ協議会へ紙媒体で送付している。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)									
		地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりが推進される。				校区コミュニティ協議会の自主的な活動や地域の活性化に資する活動が実施される。				枚方市コミュニティ連絡協議会の事務を行い、その運営を支援する。									
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)									
		指標説明		地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりの推進のため活動を実施した団体数				枚方市コミュニティ連絡協議会会議の開催状況(総会・校区代表者会議・役員会・ブロック会議)				支援の対象団体数(枚方市コミュニティ連絡協議会及び各校区コミュニティ協議会)							
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		単位		団体数		単位		回		単位		団体数					
		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
		目標(見込み)		46		46		46		46		22		22		22		22	
		実績		46		46						18		20				46	
達成度		100%				91%				100%									
分析		想定通りであった。				コロナ禍の影響により、書面での開催をすることもあったが、開催の見合わせ及び中止により、目標数値を下回った。				想定通りであった。									
ロジックモデル②		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)									
		地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりが推進される。				校区コミュニティ協議会やその参画団体が行政等からの情報を共有する。				枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて、校区コミュニティ協議会へ行政の依頼やお知らせを送付する。									
指標設定②		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)									
		指標説明		地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりの推進のため活動を実施した団体数				校区コミュニティ協議会やその参画団体が、枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて行政からの情報提供を受けた回数				枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて、校区コミュニティ協議会へ行政の依頼やお知らせを送付した回数							
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		単位		団体数		単位		便		単位		便					
		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
		目標(見込み)		46		46		46		46		12		12		12		12	
		実績		46		46						18		19				18	
達成度		100%				158%				158%									
分析		想定通りであった。				臨時で行政からの情報提供(コロナ関係)を受けることが多く、目標数値を上回った。				臨時で行政からののお知らせ(コロナ関係)を送付することが多く、目標数値を上回った。									

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	7,975	11,000		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	110	0	61		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,524	7,975	11,061		
	物件費計	1,645	2,086	568	566	101%
	歳出計	8,169	10,061	11,568		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,100	1,500	0	0	
	歳入計	1,100	1,500	0	0	
	一般財源	7,069	586	568	566	

5. 総括的分析

総括的分析
 ・コロナ禍においても、枚方市コミュニティ連絡協議会では、年20回の会議(総会1回、役員会5回、書面による役員会1回、校区代表者会議2回、書面による校区代表者会議2回、ブロック会議9回)が開催され、各団体間での情報・意見交換が行われた。
 ・同協議会において、情報共有のICT化と自治会の課題解決に関する検討会を設置し、本市と共に議論を行った。
 ・行政からの依頼やお知らせを、同協議会を通じて校区コミュニティ協議会やその参画団体に送付(19回)することで、行政の情報を地域に共有をすることができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	枚方市コミュニティ連絡協議会の運営を支援していくとともに、地域活動の活性化に向け、同協議会と連携し取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	サブリ村野NPOセンター施設維持管理事業										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013 (H25) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立サブリ村野NPOセンター条例、枚方市立サブリ村野NPOセンター条例施行規則				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	NPOその他の市民団体にサブリ村野NPOセンターを利用する利用者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	NPOその他の市民団体の活動の場の提供が必要である。				
	ターゲットが抱える課題	サブリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が、安全に利用できるような必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。				

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	サブリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が施設を安心して安全快適に利用でき、市民活動の場が充実している状態。				
------------------------	--	--	--	--	--

事業概要	【施設概要】 所在地: 村野西町5-1 開設年月日: 平成25年4月1日 建物面積: 956.6㎡ 建物構造: 鉄筋コンクリート造 3階建				
	元村野小学校の耐震化やバリアフリー化などの工事を実施し、施設の一部をNPOその他の市民団体の活動の場として提供し、市民団体の主体的な活動を支援するため、「サブリ村野NPOセンター」として、平成25年4月にリニューアルオープンした。サブリ村野NPOセンターの施設は、一時利用室(7室)、長期利用室(7室)、貸しロッカー等を備えており、施設利用に係る窓口業務等を特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターに委託している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						サブリ村野NPOセンターが適正に維持管理され、文化活動等が活性化される。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				必要な保守点検数の実施予定回数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 回			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	33	33	33	33
	実績					0	0			33	33		
	達成度					100%				100%			
分析					適切な保守点検を行ったことにより緊急に必要な修繕が発生しなかった。				適切に保守点検を実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,335	3,857	2,357		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,335	3,857	2,357		
	物件費計	10,045	10,669	11,038	11,123	99%
	歳出計	14,380	14,526	13,395		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	3,593	3,757	4,228	4,309	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	496	0	
	歳入計	3,593	4,161	4,724	4,309	
	一般財源	10,787	6,508	6,314	6,804	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大期間の施設利用中止や定員制限等を行ったことから、施設利用率等が減少することとなったが、適切に施設設備の保守点検を実施し、施設消毒作業等の感染拡大防止対策に取り組んだ。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	サプリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が施設を安心して安全快適に利用できるように、施設設備の保守点検を実施し、補修が必要な箇所が発見された場合は、適切な補修工事等の実施に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														ボランティア表彰事業													
測定年度				2021 (R3) 年度				部		市長公室				課		市民活動課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系				基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり																			
				施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します																			
				実行計画名																							
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業											
事業期間		1995 (H7) 年度				年度		~								年度まで											
根拠法令等		枚方市ボランティア表彰要領																									
関係補助金名称		サンセット																									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		次の要件のいずれにも該当する者とする。 (1)社会に貢献する活動を過去5年以上にわたり行い、その功績が顕著で他の模範となる者 (2)市内に在住しボランティア活動を行っている者、又は市外在住であるが市内でボランティア活動を行っている個人。 あるいは、市内に主たる拠点を置きボランティア活動を行って団体、又は市外に拠点を置くが市内でボランティア活動を行って団体。																							
		サブターゲット		ボランティア活動の恩恵を受ける市民等																							
		ターゲットが抱える課題		ボランティア活動を行い、社会に貢献している個人又は団体を労う場が少ない。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		ボランティア活動の促進																									
事業概要		ボランティア活動を行っている団体や個人の労をねぎらい、今後の活躍を期待し促進するために市長表彰を行う。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		広く社会一般にボランティア精神の浸透が図られ、市民によるボランティア活動が促進する。				応募があった個人及び団体を審査し、表彰する。				ボランティア活動を通じて社会に貢献している個人及び団体を募集する。																	
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		指標説明		市が関わるボランティア参加事業の活動件数		推薦件数		推薦依頼件数																			
		指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標																			
		指標数値		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5																			
		達成度		66%		118%		100%																			
		分析		新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛で活動の促進に影響があった。		目標値を達成することができた。		想定通りの依頼を実施した。																			
		単位 件		単位 件		単位 件																					
		1,850 1,900 1,950 2,000		50 50 50 50		3 3 3 3																					
		1,687 1,263		157 59		3 3																					

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,207	1,595	1,571		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	83	52	46		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,290	1,647	1,617		
	物件費計	39	289	96	195	55%
	歳出計	3,329	1,936	1,713		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	3,329	289	96	195	

5. 総括的分析

総括的分析	表彰の基準となるボランティアの活動年数の見直しを実施した令和2年度の実績と比較すると、令和3年度は表彰の数が減少したが、想定していた目標値よりも多くの表彰を行うことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	ボランティア活動を通じて社会貢献をしている個人・団体に対しての表彰を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														市民公益活動補償保険事業													
測定年度				2021 (R3) 年度				部		市長公室				課		市民活動課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系				基本目標				6. 計画の推進に向けた基盤づくり																			
				施策目標				30. 市民による活発なまちづくり活動を支援します																			
				実行計画名																							
1. 事務事業の概要																											
種類				市民サービス				特性				選択的的事业				区分		一般事務事業									
事業期間				1984 (S59) 年度				年度		~		年度まで															
根拠法令等				決裁																							
関係補助金名称				サンセット																							
関係附属機関名称																											
事業対象				メインターゲット				公益活動を行う校区コミュニティ協議会、自治会(参画団体及び枚方市コミュニティ連絡協議会)及びその他市内に活動拠点のある5人以上の市民等(市内在学・在勤の人を含む)で構成された団体																			
				サブターゲット																							
				ターゲットが抱える課題				市民団体等が公益活動を行う上で、ケガ等のリスクがある。																			
				ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)				市民団体等が安心して市民活動を実施することができる。																							
事業概要				校区コミュニティ協議会・自治会(参画団体及び枚方市コミュニティ連絡協議会を含む)及び市民団体の日本国内における日帰りの公益活動(子ども防災キャンプについては宿泊を伴う活動も含む)時に発生した損害賠償責任事故及び傷害事故について補償する市民公益活動補償保険の団体登録、事故発生時の受付及び保険会社への報告を行う。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				市民団体等が安心して市民活動を実施することができる。				市民公益活動補償保険制度が広く知られる。				市民公益活動補償保険制度を周知する。															
指標設定				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				登録団体数				要項配布数				要項設置施設数															
				単位		団体		単位		枚		単位		か所													
				指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標											
				指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5							
				目標(見込み)		745		750		755		760		360		360		360		360							
				実績		724		725						360		360											
達成度				97%				100%				100%															
分析				新型コロナウイルス感染症拡大による活動自粛等の影響により目標が達成できていない。				計画通りに要項の配布を実施した。				計画通りに要項の設置を実施した。															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.13
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,612	3,190	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	312	224	200		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,924	3,414	3,343		
	物件費計	2,333	2,162	1,674	3,271	51%
	歳出計	8,257	5,576	5,017		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	8,257	2,162	1,674	3,271	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市民活動の自粛は続いているが、令和2年度に比べ活動を実施する団体が増え、事故報告件数は増加した。 ※事故報告件数11件(内訳:傷害保険9件、賠償責任保険2件)。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市民公益活動の一助となるよう今後も事業を実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	自治会館建設等支援事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	市長公室				課	市民活動課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
	実行計画名		計画推進2-1.市民活動の支援											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	1970(S45)年度				年度	~				年度まで			
根拠法令等	自治会館建設等助成金交付規則												
関係補助金名称	自治会館建設等助成金						サンセット	R3(2021)年度		-		R5(2023)年度	
関係附属機関名称													

事業対象	メインターゲット	自治会										
	サブターゲット	自治会活動を行う自治会員をはじめ、自治会館を使用される地域住民等										
	ターゲットが抱える課題	自治会活動の拠点である自治会館の整備										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	自治会活動の拠点である自治会館の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られている状態。											
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>住民による安全・安心のまちづくりや、住民同士の連携など、住民自治の振興を図ることを目的として、地域活動の拠点であり、住民の連携を促進するために大変重要な役割を果たす自治会館の建設等を行う際、自治会館建設等助成金を交付している。</p> <p>また、市内で一定規模以上の住宅開発が行われる際には、集会施設を設置するよう協議・指導を行っているほか、過去の住宅開発に伴い、開発業者から自治会館建設用地として市が寄付を受けたが、自治会による自治会館建設に至っていない用地について、市が維持管理を行っている。</p> <p>なお、令和3年度に自治会館建設等助成金交付規則を改正し、次の点について見直しを実施。</p> <p>①建築物価の変動を踏まえ、これまで据え置いていた「新築」及び「建替え」に対する助成限度額を500万円から750万円に増額。</p> <p>②自治会において計画的な改修を行うことにより、自治会館の長寿命化と建物の適切な維持管理を促進するため、建物全般の改修に柔軟に対応できる新たなメニューとして「改修」を創設し、限度額を300万円とした。</p>											
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	自治会活動の拠点である自治会館の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られる。				アウトプット(活動結果)	自治会館の新築・建替えや、改修等が実施される。				インプット(活動)	自治会館の建設等に対し、助成金を交付する。			
	指標説明	活動の拠点となる自治会館の整備による地域活動の活性化が図られた自治会の数				自治会館を整備した自治会の数				自治会館建設等助成金の交付により、自治会館の整備を支援した自治会の数					

指標設定	指標説明	活動の拠点となる自治会館の整備による地域活動の活性化が図られた自治会の数				自治会館を整備した自治会の数				自治会館建設等助成金の交付により、自治会館の整備を支援した自治会の数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	15	7	11	11	12	5	9	9	12	5	9	9
	実績	8	6			8	4			8	4		
	達成度	86%				80%				80%			
分析	当初改修を予定していたが、申請を取り下げた自治会があったことから、想定より件数が少なかった。				当初改修を予定していたが、申請を取り下げた自治会があったことから、想定より件数が少なかった。				当初改修を予定していたが、申請を取り下げた自治会があったことから、想定より件数が少なかった。				

ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	自治会活動の拠点である自治会館の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られる。				アウトプット(活動結果)	住宅建設等開発行為に伴う集会施設(自治会館)の建築・設置が進む。				インプット(活動)	住宅建設等開発行為を行う事業者に対し、集会所用地の提供及び集会施設の建築・設置を協議・指導する。			
	指標説明	活動の拠点となる自治会館の整備による地域活動の活性化が図られた自治会の数				集会施設(自治会館)の建築・設置に向けた開発協議に伴う完了検査を行った数				集会所用地の提供及び集会施設の建築・設置を協議・指導する数					

指標設定②	指標説明	活動の拠点となる自治会館の整備による地域活動の活性化が図られた自治会の数				集会施設(自治会館)の建築・設置に向けた開発協議に伴う完了検査を行った数				集会所用地の提供及び集会施設の建築・設置を協議・指導する数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	15	7	11	11	3	2	2	2	3	2	2	2
	実績	8	6			0	2			1	2		
	達成度	86%				100%				100%			
分析	当初改修を予定していたが、申請を取り下げた自治会があったことから、想定より件数が少なかった。				集会施設の建築・設置基準を満たす開発が想定件数通りであった。				集会施設の建築・設置基準を満たす開発が想定件数通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,013	7,178	10,214		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,013	7,178	10,214		
	物件費計	10,826	26,637	15,278	19,984	76%
	歳出計	16,839	33,815	25,492		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	6	5	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	928	1,000	938	
	歳入計	0	928	1,006	943	
	一般財源	16,839	25,709	14,272	19,041	

5. 総括的分析

自治会館の整備に対する支援については、令和2年度に自治会を対象として実施したアンケートの結果を踏まえ、自治会館建設等助成制度における「新築」及び「建替え」メニューの限度額増額、建物全般の改修を対象とする「改修」メニューの創設を内容とする助成制度の見直しを行い、令和3年度から実施を行った。しかし、自治会内での合意形成や資金計画上の課題等により、同制度を活用し、自治会館の整備を行った自治会の数は想定を下回った。
 一方、開発行為に伴う自治会館の整備については、建築・設置基準を満たす開発件数が想定通りであったため、目標を達成できた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	自治会館建設等助成制度について、自治会への制度の周知を引き続き行うとともに、自治会のニーズに沿った制度の活用を促進することで、さらなる自治会活動の活性化を図っていく。開発行為については、引き続き自治会館の建築・設置基準を満たす開発に対して建築・設置の協議・指導を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														自治会掲示板交付事業													
測定年度				2021(R3)年度				部		市長公室				課		市民活動課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系				基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり																			
				施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します																			
				実行計画名																							
1. 事務事業の概要																											
種類				市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業									
事業期間				1987(S62)年度				年度		~		年度まで															
根拠法令等				自治会掲示板の交付に関する要綱																							
関係補助金名称								サンセット																			
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		掲示板の交付申請を行う自治会																							
		サブターゲット		掲示板にある情報を閲覧される地域住民等																							
		ターゲットが抱える課題		自治会における地域住民への情報提供の充実を図る。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		地域広報が充実し、地域住民相互の交流や活動の促進が図られている状態。																									
事業概要		「自治会掲示板交付要綱」に基づき、原則として1会計年度に1自治会1枚を配布するもの。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		地域住民相互の交流や活動の促進が図られる。				地域広報が充実する。				自治会掲示板を、原則として1会計年度に1自治会1枚配布する。																	
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		指標説明		掲示板が配置されている自治会の割合				自治会掲示板が取り換えまたは新規設置された数				交付申請数															
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5									
		目標(見込み)		90		90		90		90		30		30		30		30									
		実績		87		87						29		21													
		達成度		93%				73%				73%															
分析		概ね想定通りであった。				コロナ禍において会合を自粛する自治会もあったことから、掲示板の交付数も減少したと想定される。				コロナ禍において会合を自粛する自治会もあったことから、掲示板の交付数も減少したと想定される。																	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,004	3,190	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,004	3,190	3,143		
	物件費計	673	471	1,164	500	233%
	歳出計	2,677	3,661	4,307		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	2,677	471	1,164	500	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍において会合を自粛する自治会もあったことから、掲示板の交付数も減少したと想定される。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き掲示板の交付を補助し、地域住民相互の交流や活動の促進を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	特定非営利活動法人設立認証等事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	市長公室			課	市民活動課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	非選択的的事业			区分	非選択的業務事業		
事業期間	2012(H24)年度			年度	~				年度まで		
根拠法令等	特定非営利活動促進法										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	特定非営利活動法人の設立を目指す市民団体等及び市内の特定非営利活動法人									
	サブターゲット	市内で活動する特定非営利活動法人の公益活動により恩恵を受ける市民									
	ターゲットが抱える課題	市民活動団体が安定した運営を行う。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	特定非営利活動法人の設立認証等を行うことにより、団体の運営が安定し、市民活動が活性化する。										
事業概要	法人の設立認証等に係る相談業務と特定非営利活動促進法に基づき、特定非営利活動法人の設立認証、設立後の法人に対する事業報告書受理、立入検査、改善命令等の事務を行う。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
					市民活動団体の運営が安定する。				特定非営利活動法人の設立認証等に係る事務を実施する。				
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明					市内の特定非営利活動法人数				特定非営利活動法人の設立認証件数			
	指標種類	単位				単位 法人				単位 件			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	実績					115 120 125 130				5 5 5 5			
達成度					93%				80%				
分析					新型コロナの影響や会員の高齢化により、事業の継続が困難であると判断し、自主的に解散した法人や設立認証の取り消し処分を受けて解散した法人が増加したため、法人数が減少した。				ほぼ目標どおりの実績であり、市民活動の活性化が図られている。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,810	3,988	3,929		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	61		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,810	3,988	3,990		
	物件費計	9	59	215	335	64%
	歳出計	4,819	4,047	4,205		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	1,483	59	215	335	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	1,483	59	215	335	
	一般財源	3,336	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響等による法人数の減少はあったが、指標の達成度については概ね予想通りであった。今後も円滑な事務執行に努めることとする。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、特定非営利活動の健全な発展を促進するため、特定非営利活動法人からの事業報告書の提出をはじめ、各種申請・届出の処理・受理業務を円滑に行うとともに、あわせて監督・指導事務を的確に行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													協働のまちづくり推進事業			
測定年度		2021(R3)年度			部		市長公室			課		市民活動課				
市長公約との関係		所信表明	○	市政運営方針		R2	R3	R4								
総合計画体系		基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり												
		施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します												
		実行計画名		計画推進2-1.市民活動の支援												
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業				
事業期間		2016(H28)年度			年度		~					年度まで				
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称												サンセット				
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		市民や市民団体、NPO、事業者等												
		サブターゲット		協働によるまちづくりの推進による市民サービスを提供される市民												
		ターゲットが抱える課題		市民や市民団体、NPO、事業者など多様な主体が地域課題を共有し、信頼関係を深め、適切な役割分担を行い、協働によるまちづくりを進める必要がある。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		市民や市民団体、NPO、事業者など多様な主体の協働によるまちづくりが推進されている。														
事業概要		地域との協働を推進するため、地域住民団体の活動支援を所管とする市民活動課が校区コミュニティ協議会と意見交換を行い、必要に応じて関係課とマッチングするなど、地域の公共的課題の解決に向けて取り組む。 また、行政とNPOとの意見交換会をひらかた市民活動支援センターと協働して実施するとともに、職員を対象に、協働に関する研修を実施し、啓発を進める。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		市民や市民団体、NPO、事業者など多様な主体の協働によるまちづくりが推進される。				職員の協働に対する理解を深める。				市民活動課職員の枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等への参加、またNPOとの意見交換会を実施する。						
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		指標説明		多様な主体との協働による事案件数		枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等及びNPOとの意見交換会、協働に関する研修への参加延べ職員数		市民活動課職員の枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等への参加回数、NPOとの意見交換会の開催回数、協働に関する研修開催回数								
		指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標								
		指標数値		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5								
		目標(見込み)		170 180 190 200		105 170 180 190		17 25 25 25								
		実績		198 224		357 230		8 23								
達成度		124%				135%				92%						
分析		協働への取り組みの推進により、目標の達成が為されている。				職員研修をオンラインで実施する工夫により目標が達成された。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響でブロック会議が中止となったこともあり、想定より少ない結果であった。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	5,583	6,286		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,414	5,583	6,286		
	物件費計	35	0	0	10	—
	歳出計	6,449	5,583	6,286		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	6,449	0	0	10	

5. 総括的分析

総括的分析	動画研修での協働事例の共有や、コミュニティ・NPOとの意見交換等により、職員の協働に対する意識醸成を行うことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	協働によるまちづくりを一層推進していくため、引き続き取り組みを進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民活動課運営事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	市長公室				課	市民活動課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理				特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務			
事業期間	不明				年度	~				年度まで				
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称									サンセット	-				
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		市民活動課所属職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に進む。													
事業概要	課の運営事務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明													
	指標種類		単位		単位		単位		単位		単位		単位	
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績												
	達成度													
	分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.19
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,620	7,975	7,857		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	327	292		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	9,620	8,302	8,149		
	物件費計	112	58	47	0	—
	歳出計	9,732	8,360	8,196		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	6	9	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	6	9	0	0	
	一般財源	9,726	49	47	0	

5. 総括的分析

総括的分析 市民活動課における行政事務及び庶務事務については、円滑かつ適正に執行した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	事務連絡等により情報を的確に入手し、適正な処理に努める。